

E-Ladies

電気工事業で輝き、活躍する女性

北陸でも電気工事の技術者として活躍する女性が増えています。そんな“E-Ladies”にお話を聞きました。

VOL.5
FUKUI
LADY

この魅力的な仕事に、
女性も就けると発信したい。

西川電業株式会社 平尾 仁奈
工務部 NINA HIRAO

家族の働く姿を見て 電気工事の世界へ。

工業高校を卒業後、西川電業に初の女性現場技術者として入社して3年目になります。入社当初は送電課で送電設備工事に、現在は通信課で電気通信設備工事に携わっています。送電課在籍中は鉄塔にも昇ったことがあります。

電気工事の仕事に興味を持ち始めたのは、かなり幼い頃です。私の父も祖父も、伯父も従兄弟も電気工事士で、子供の頃からその仕事と身近にありました。人に感謝される仕事でやりがいもありそうだし、ものづくりが好きなら合います。と、感じて工業高校に進み、電力会社

でのインターンシップに参加して、電柱に昇る昇柱体験がとても楽しかったことから「電気工事の会社に入って現場で働きたい」と目指す進路を決めました。

ところが、いざ始まった就職活動ではたくさんの企業に「女性の技術者は採用したことがないから…」と言われてしまいました。西川電業も最初は同じ反応でしたが、担当の方が「社長に確認してみよう」と言ってくださり、その結果、入社することができたんです。

初の女性技術者の採用は会社にとってもチャレンジだったと思います。でも、私の入社後にも環境整備や意識改革に積極的に取り組んでいただき、着実に働く環境が変わってきていると感じます。



象徴的なのは、自走式水洗トイレカーの導入です。女性技術者の採用にはトイレ問題がネックになる場合も多いかと思いますが、当社では女性用の仮設トイレ設置にとどまらず、着替えスペースとしても使えるトイレカーをオーダーメイドで導入してくれました。また、社屋別館に男女別の仮眠室を設置したり、女性に嬉しい設備を備えた化粧室を設けたりと、女性の意見も取り入れながら男女



ともに働きやすい環境の整備を進めてくれていると感謝しています。

魅力の多いこの仕事が、
女性の選択肢になるように。

ある雨の日に、作業している隣の敷地の子が「雨の中お仕事ががんばってください」と大きな声で言ってくれたことがあるんです。街の人々に声をかけていただけることも多く、そんな時に暮らしを支えるこの仕事の魅力とやりがいを感じます。

今の私の目標は、いつか現場責任者になることです。こんな人になりたいと思っている上司を目標に、その方のように雰囲気よく過ごせる現場づくりをして、責任を持って自分の現場を完了させられる人になりたいですね。

それからもうひとつ、こんなに魅力的な仕事が女性の職業の選択肢になっていないのは、もったいないと思うんです。女性だってこの仕事を選んでいい、男女関係なくやりがいを持って働けるということ、私も発信していけたらと思っています。

私のオフの過ごし方
SNSで見たお店へご飯やスイーツを食べに出かけたり、自宅でキーホルダーやイヤリング作りをしたりして過ごします。



西川電業株式会社 赤井 常治
工務部 次長 HISAHARU AKAI

当社が目指してきたのは、「女性が」ではなく「男女を問わず働きやすい」環境づくりです。性別関係なくさまざまな分野にチャレンジしてもらい、得手不得手を踏まえて成長の機会を作りながら活躍できるようサポートしていきたいと考えています。適材適所を追求することで、みんなが活躍できる業界になるのではないかと思います。

平尾さんは当社として初めての女性現場作業員で、本人が感じた重圧や不安も大きかったらと思います。その中で期待に応えようとする努力、周囲に迷惑をかけまいとする姿勢を高く評価しています。今後も積極的に女性を採用していく予定で、いずれは女性だけ、男性だけのチームを作ったらおもしろいことができるのではないかと想い描いています。平尾さんにはその勉強熱心な姿勢でこれからも大きく成長し、当社の女性現場作業員のパイオニアとしてスタッフみんなが憧れるような存在になってほしいと期待しています。



2023年竣工の新別館「Noasis」には働きやすさを考慮した施設が満載。



女性社員の意見から照明付のミラーが採用されたパウダールーム。



仮眠室も男女別に設けられ、よりリラックスできる癒やしの空間に。



現場のトイレ問題を解決すべく導入したオーダーメイドのトイレカー。